

三世代でつながり、笑顔が広がる広報誌

No. _____

454

2026.05

ぼらんていあ だより

ボクのこと
知って
いるかい?



写真でひとこと 1月号(No.452)

優秀賞

優秀賞の他、秀逸賞を
Instagramで発表中!
是非ご覧ください!!



特集 障がいを 理解するための 実践教室



ぼらんていあ
だより

CONTENTS

【特集】

障がいを
理解するための実践教室

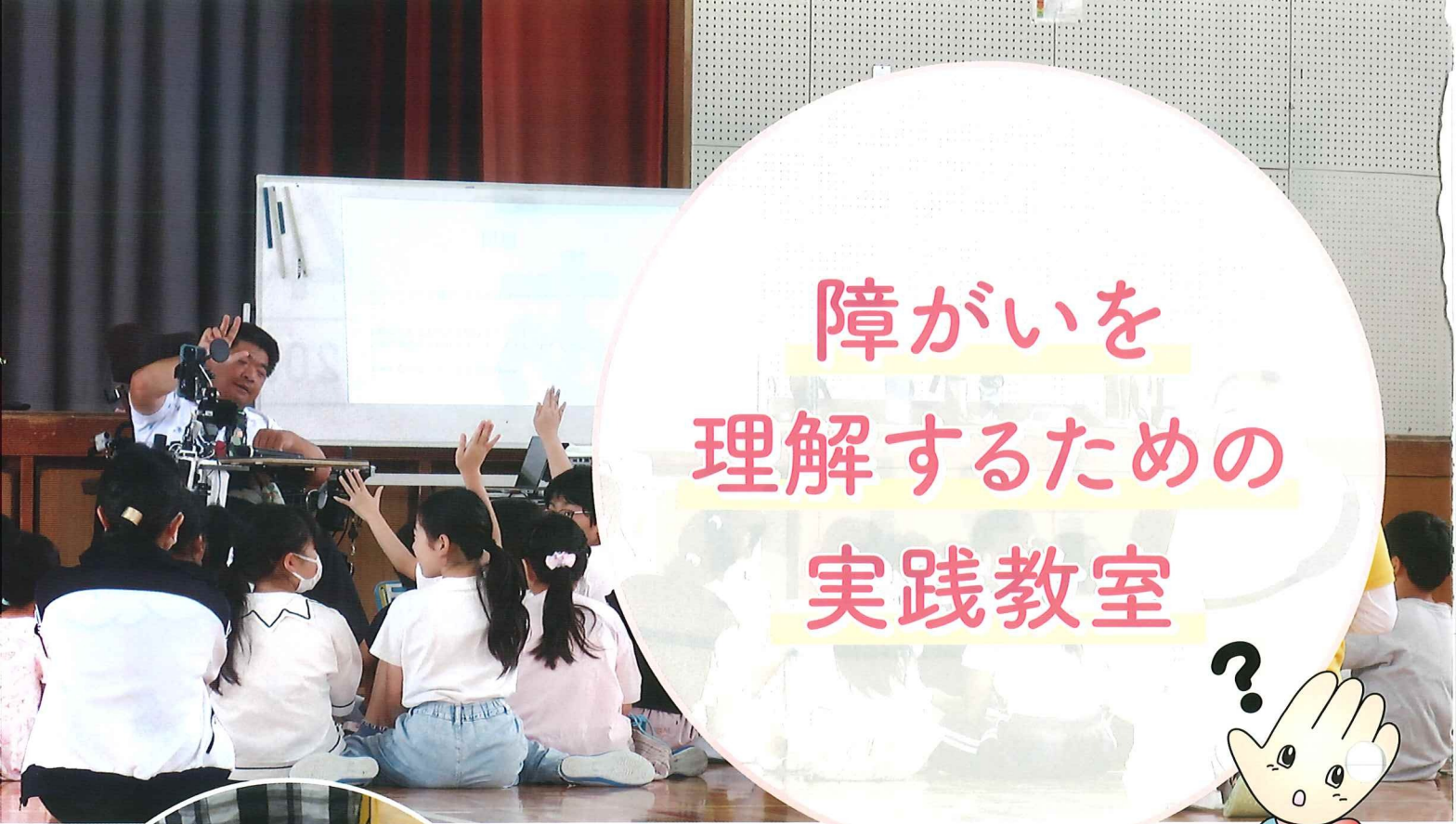
- 登録ボランティア紹介
- コーディネート事例

- ボランティア募集情報
- ボランティアの輪
- 応募コーナー「写真でひとこと」
- お便りコーナー
- ボラセンからのお知らせ



豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター

本誌の発行には
共同募金配分金が使われています



障がいを 理解するための 実践教室



障がいを 理解するための実践教室とは？

誰もが安心して暮らせる地域社会をつくるためには、障がいへの理解を深めることが大切です。

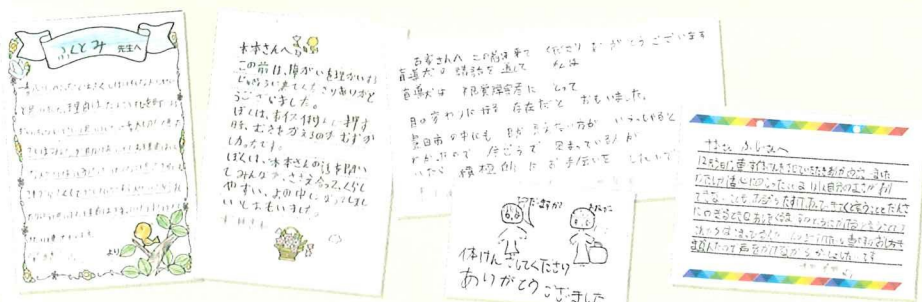
「障がいを理解するための実践教室」では、車いす体験や高齢者擬似体験、手話体験などを通して、障がいのある方の生活や思いに触れます。体験はあくまできっかけとし、講話を通じて一人ひとりの暮らしや考えに出会うことで、「大変そう」「かわいそう」といった見方でなく、「地域とともに生きる一人の人」として捉える視点を育みます。

こうした学びを通じて、福祉やボランティアへの関心を高めるとともに、相手を理解しようとする気持ちや思いやりの心を育てることを目的としています。



【児童・生徒からのお礼の手紙】

【昨年度の実施状況】



	小学校	中学校	高等学校
実施校数	42校	2校	3校
累計	6503人 129回	54人 2回	291人 12回

内容・科目

肢体不自由について	車いす体験 / 多様性を知る交流プログラム
視覚障がいについて	点字体験 / 盲導犬 / アイマスク体験・自助具紹介
聴覚障がいについて	手話体験 / 書いて伝える体験 (要約筆記・筆談)
発達障がいについて	発達障がいと自閉症についての理解
知的障がいについて	ダウン症についての理解
高齢者について	高齢者擬似体験
福祉について	ボランティアや福祉についての講話
その他希望する科目	講師とのふれあい交流等



「共に生きる力」を育む

福祉教育では、「共に生きる力」を育むことを大切にしています。地域のみなさんが多様な個性や性別、障がい、国籍、世代の違いを越え、他者と出会いながら支え合って生きる力を育てることを目指しています。福祉は制度や支援だけでなく、「ふだんのくらしのしあわせ」として捉えることが重要です。

一方的に支えるのではなく、人と人が

関わり合いながら共に生きる関係の中で自立が成り立つという視点を重視します。

「福祉教育」として日常のつながりや支え合いを学び、共に生きる社会を築く力を育てていきます。

社協では、この事業を講師（障がいのある方等）と一緒に進めています。
（この費用は「社協会費」「赤い羽根共同募金」から支出しています）



情報交換の場 講師連絡会

年度内の実践教室の終了後、「講師連絡会」という情報交換の場を開催し、当年度を振り返り、各科目講師の実践での気づきや課題を共有します。

あわせて、プログラムを超えた情報交換を通じ、次年度に向けプログラムの方向性や改善点を整理することを目指しています。



登録ボランティアグループ紹介



登録グループ名

琴啓会(きんけいかい)

活動内容

特技登録(音楽)

高齢者施設でも障がい者施設でも依頼があればどこへでも！
「今日楽しかったね！」という思い出づくりのお手伝いをしたいと思っています。

活動内容

ライブで楽しい時間を

キーボードでライブ感を大切にしながら歌を届けています。一人で歌うだけでなく、皆さんが知っている曲を弾いて一緒に合唱することも。リクエストにも可能な限りお応えし、アレンジも楽しみながら演奏します。

キーボードのほか大正琴も演奏でき、大正琴の時は仲間と何うこともあります。

歌だけでなく体操や脳トレなど、楽しい時間づくりにも挑戦しています。

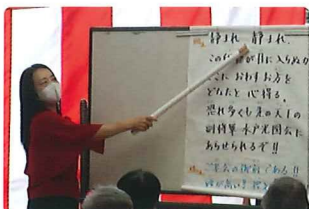


メッセージ

一緒に楽しみましょう

人と関わることの楽しさを伝えたい♪私自身もいろんな人と出会いたい！知り合いたい！見学・体験・コラボなんでも大歓迎で～す！

豊田市のボランティア活動を盛り上げましょう！そして何より一緒に楽しみましょう～！



このグループに
興味のある方、依頼したい方
また取材を希望のグループは
ぜひ社協までお問い合わせください

ボランティアセンターでの
コーディネート事例

花の命をつなぎ 人と人がつながる“思い”

きっかけ PROLOGUE

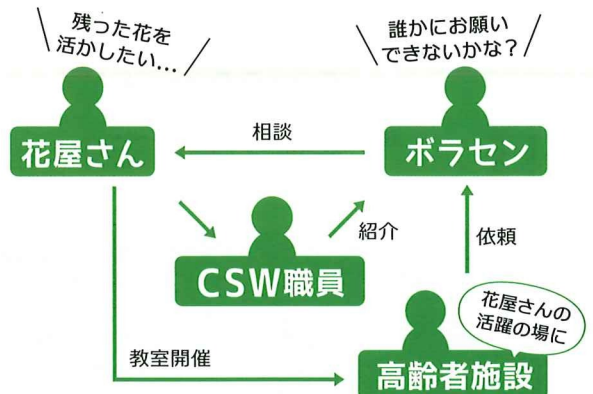
社協CSW職員が障がい者施設を訪問した際、利用者が好きな花を選び花束作りや生け花を楽しんだと聞きました。その花は、流通の都合で廃棄される花の命を繋ぎたいという思いを持つ花屋さんから提供されたもの。CSW職員はこの地域の善意の取り組みをボランティアセンターへと共有しました。



ちょうどその頃 AT THE TIME

高齢者施設から、利用者へフラワーアレンジメントを体験して欲しいので教えてくれるボランティアさんを探している、とボランティア依頼が寄せられました。地域との交流を通じ、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしてほしいという思いからの試みでした。

そこでボランティアセンターは、CSW職員から聞いていた花屋さんに連絡。流通の都合で廃棄される花を「生きている命」と捉え救い出したいという思いに共感し、協力を快諾してもらいました。この活動は花市場の理解や信頼にも支えられており、その思いを伝えると施設側も深く共感。双方の願いが重なり、取り組みが具体的に進み始めました。



CSW(コミュニティソーシャルワーカー)は、「どこに相談すればいいかわからない悩み」を受け止め、支援者や関係機関につないだり、課題の解決に向け一緒に考えたりする“地域の身近な相談者”であることも役割のひとつです。



今回の事例から

SUMMARY

花の命を繋ぎたいという思いをずっと持ち続けている花屋さん。地域の方とさまざまな形でつながり、利用者さんへ楽しい時間を過ごし笑顔になって欲しいと願う高齢者施設職員。

優しい心が紡いだ“花”をきっかけに、人と人が出会い、笑顔になる力(ちから)を感じさせる事例でした。

予約なしで
参加OK!

豊田市福祉センター
3階交流コーナー

DE ボランティア活動

対象 どなたでも
費用 無料

「毎月」開催

☑ 使用済み切手&ベルマーク整理作業

日時 5月8日(金)/6月4日(木)
午前10時～正午

- ・使用済み切手の周りを切る作業
- ・ベルマークを切り取り仕分ける作業

「偶数月」開催

☑ ぼらんていあだより発送作業

日時 6月25日(木)
午前10時～正午

- ・たよりを数えて封筒に入れる作業

「奇数月」開催

☑ “誰か”の役に立つ作業

日時 5月28日(木)
午前10時～正午

- ・“子どもの居場所”で使うものを新聞紙で作ります

＼ぼくも!!!
＼わたしも!!!

ボランティアの輪 WA

豊田東高校JRC部

豊田東高校JRC部は、愛知県青少年赤十字の活動をはじめ、献血の呼びかけや地域施設でのイベントなど、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。

令和7年度に特に力を入れて企画したのが、11月30日に松平の複合福祉施設「スープタウン」で開催した多世代交流イベント「ぼかぼか♡スープフェスティバル」です。

みんなの願いを書いた具材カードを貼って、スープ鍋を作りました♪



高校生、施設の高齢者、地域子どもたちがグループになり、スタンプラリーを楽しみました。初めての企画で大変なこともありましたが、形になっていく過程は大きなやりがいがありました。

当日は世代を超えた交流が生まれ、笑顔あふれる時間となりました。この経験を今後の活動にも活かしていきたいと思えます。

応募コーナー

写真でひとこと

右の写真を見て思いついた、「ひとこと」を投稿する大喜利コーナーです。たくさんのご応募をお待ちしています！

楽しい！おもしろい！と思える回答の中から一部を次号以降、本誌で掲載します。

応募の中から5名の方に500円分の図書カードをプレゼントします。

応募方法は、裏表紙記載のボランティアセンター住所宛にハガキを投函する方法と、応募フォームから入力する方法があります。

応募フォーム



今号の写真

7月31日(金)締切 ※当日消印有効

【当選は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます】

お便りコーナー

応募の中でいただいたご感想を紹介します。たくさんのご応募お待ちしております！

素敵なコンセプト

「誰か」の役に立つ、というコンセプトが素敵だと思います。

ボランティアは多種多様でいろいろなものがありますが、どの活動でも、ちょっとした思いやりの気持ちが地域の「誰か」の支えになっています！



おかあさんに勧めました

ぼらんていあだよりを読んで、おかあさんにボランティアを勧めました。

ボランティアを紹介してくださり、ありがとうございます！良かったら、おかあさんと一緒にあなたもボランティアしませんか？



ぼらんて君を応援

ぼらんて君のことを初めて知り、みんなにももっと知ってもらって、活動を応援したくなりました。家族でできることから始めたいと思います。まずはベルマークがどこについてるかがしてみます！

ぼらんて君も応援してもらって喜んでいきます！ぼらんていあだよりを通じて家族の方と一緒にボランティア！職員として、この上なく嬉しいです！



ポラセンからのお知らせ

とよた市民福祉大学 第11期

入学式・市民公開講座

とよた市民福祉大学の講義1を公開講座として市民の方にもご参加いただき、地域福祉への関心を持っていただく機会の一つとして開催します。



開催日時	6月13日(土) 午後1時～午後3時(受付:午後12時30分～)
場所	豊田市福祉センター ホール
対象者	市内在住・ 在勤・在学の方
申込み	5月7日(木)～6月12日(金) チラシの申込書持参・電話・ FAX・メール・専用フォーム

-参加費-
無料

令和8年度

ボランティアセミナーのご案内

ボランティア活動に一步を踏み出せずにいる方や、新たな分野の活動に挑戦してみたい方！

本セミナーをきっかけにボランティア活動を始めてみませんか？

開催日程
第1回：7月25日(土)
第2回：8月1日(土)～29日(土)
の内1日程度
第3回：8月29日(土)

-参加費-
無料

場所 豊田市福祉センター

対象者
・市内在住・在勤・在学の方
・3回全てに出席できる方
・高校生以上の方

申込み
6月2日(火)～7月18日(土)
チラシの申込書持参・電話・
FAX・メール・専用フォーム

第3次 豊田市地域福祉計画・

地域福祉活動計画が始まります

豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画は、行政と社協が連携を図りながら一体的に策定をした福祉分野を横断的につなぐ基盤となる計画です。

計画期間 ▶ 6年間(令和8年度から13年度まで)

基本理念 ▶ とともに 誰もがつながり合い、自分らしく、安心して暮らすことができるまちをつくる

▼ 計画を推進していくうえでの視点

①関心を持つ・知る・情報を得る ②つなげる・広める
③参加する・行動する ④主体的に動く・創造する

社協本所、支所、出張所及びホームページにて閲覧ができます。ご興味のある方は、ぜひご覧ください。

ぼらんていあだよりに関するお問い合わせ

発行No.454 | 2026年5月号(隔月発行)



豊田市社会福祉協議会
ボランティアセンター



WEBサイト

<https://vc.toyota-shakyo.jp>



SNS



Instagram ▶

◀ Youtube



〒471-0877 豊田市錦町1丁目1-1(豊田市福祉センター2階)
TEL. 0565-31-1294 / FAX. 0565-33-2346
MAIL. vc@toyota-shakyo.jp